

オペラ「小町百年の恋」をイメージしたひな飾りも登場した石岡市府中1丁目の常陸国府館



「小町百年の恋」も登場

石岡雛巡りがスタート

第5回「いしおか雛(ひな)巡り」(主催・石岡商工会議所)が12日、同市の中心市街地商店街で始まった。まちかど情報センターなど市内101カ所できざまなひな人形が楽しめる。その中でもオペラ「小町百年の恋」をイメージしたひな飾りが同市府中1丁目の常陸国府館に登場、話題を集めている。

オペラ「小町百年の恋」の原作は土浦市在住の医師、佐賀純一さんの著書「筑波山愛ものがたり」(常陽新聞新社刊)。本紙に連載した後、2006年3月に出版された。

その後、08年11月の第23回国民文化祭で、作曲・台本・指揮に平井秀明さん、演出に十川稔さん、小野小

町・およし役に腰越満さん、深草少将・高橋虫麻呂役に上原正敏さんという豪華メンバーで、つくば市のノバホールで上演された。さらに、昨年3月に水戸市の県民文化センターで再演された。

これ以外にも、都内や牛久市でハイライト版が上演されている。今回、3月20日に、石岡市総社1丁目の市民会館大ホールで市民協働まちづくり推進大会が開催される。記念式典後の第2部として、全3幕のハイライト版(2時間)が上演される。一般公募の市民や市内の合唱団、小中高校生が現在、練習に励んでいるという。

ひな人形のオペラ「小町百年の恋」は3幕に沿って3つのシーンで構成、5人ばやしや笛、太鼓を集めて、指揮者のひな飾りも置き、ひな人形のオーケストラを誕生させるなど、独創的な飾りつけが話題を集めている。訪れた人たちも興味深そうに見学していた。会期は3月3日までで、土日曜日にはクイズラリー

1、パワースポットめぐり、軽トラ市、寄席、安売り市など多彩なイベントが楽しめる。

問い合わせは、石岡商工会議所(電話0299・22・4181)かまちかど情報センター(電話0299・27・5171)まで。(園部高秀)